

令和 7 年度 乗務員指導計画表

項目 月	指導目標	指導内容	実施上の重要ポイント
令和 7 年 4 月	・ 事業用自動車を運転する場合の心構え ・ 春の全国交通安全運動 【4 月 6 日～4 月 1 5 日】	・ 公共性と重要性、運行の安全確保 他の自動車の模範となる安全かつマナーある運転 ・ 本運動の主旨、及び実施事項の周知徹底	・ 模範となる運転者の心構え等 ・ 春の交通安全運動（点呼時啓蒙） ・ 事故ゼロ運動 ・ 巡回指導（側乗指導、街頭指導）
5 月	・ 事業用自動車の運行の安全、旅客の安全を 確保する為に遵守すべき事項 ・ 車両の点検手入れ要領	・ 道路運送法、道路交通法等の 理解及び遵守すべきポイント ・ 正確、確実な日常点検の実施	・ 各法令の遵守事項 ・ 管理者立会いの下、的確な日常点検の実施
6 月	・ 事業用の構造上の特性 ・ 梅雨時期の事故防止	・ 車高、車長、車幅、死角、内輪差 及び制動距離等の確認 梅雨時期の走行時の留意点	・ 実車を用いた再確認 ・ 雨天走行時留意点（点呼時啓蒙）
7 月	・ 運行路線・経路における道路 及び交通の状況 ・ 夏季の輸送安全総点検 ・ 過労運転防止の徹底	・ 安全運行の為、経路等情報の 把握の重要性を認識 ・ 本運動の主旨、及び実施事項の周知徹底 ・ 連続運転についての解釈及び実践方法	・ 運行前情報に基づき 安全運行への配慮を認識 ・ 夏季輸送安全総点検（点呼時啓蒙） ・ 事故ゼロ運動 ・ 巡回指導（側乗指導、街頭指導）
8 月	・ 乗車中の旅客の安全を 確保する為に留意すべき事項 ・ 異常気象時の処置要領	・ 車内事故撲滅、ヒヤリハット共有 シートベルト着用の徹底 ・ 台風、集中豪雨等、異常気象時の対応策	・ シートベルト着用の徹底（点呼時啓蒙） ・ 点呼時啓蒙
9 月	・ 旅客が乗降する時の安全を 確保する為に留意すべき事項 ・ 秋の全国交通安全運動 【9 月 2 1 日～3 0 日】	・ 乗降口の扉の開閉時における 事故防止の徹底 ・ 本運動の主旨、及び実施事項の周知徹底	・ 乗降時における安全確認の徹底 （点呼時啓蒙） ・ 秋の交通安全運動（点呼時啓蒙） ・ 事故ゼロ運動 ・ 巡回指導（側乗指導、街頭指導）
1 0 月	・ 危険予測及び回避 ・ 緊急時における対応方法（異常気象時含む） ・ トップシーズンを乗り切る為、 健康管理、車両の点検整備の徹底	・ 危険予知訓練の実施、危険回避の方法 事故、災害発生、異常気象時対応方法の指導 ・ 健康管理、健康状態の把握 ・ 車両検査実施	・ 各道路使用者の行動特性を把握し安全運行 の意識を持つ、緊急時対応の再確認 ・ 車両状態、健康状態（点呼時啓蒙） ・ 車内美化推進
1 1 月	・ 運転者の運転適性に応じた 安全運転 ・ 安全運行意識の向上	・ 適性診断の必要性 ・ ゆとり運転、思いやり運転、運転マナー向上	・ 適性診断結果の活用 ・ 安全意識の向上について（点呼時啓蒙）
1 2 月	・ 事故に係る生理的・心理的要因 ・ 年末年始輸送安全総点検	・ 過労、睡眠不足、飲酒、過信運転等交通事故の 要因となる状態の理解 ・ 本運動の主旨、及び実施事項の周知徹底	・ 過労、睡眠不足、飲酒、慣れ 過信運転の防止 ・ 年末年始輸送安全総点検（点呼時啓蒙） ・ 事故ゼロ運動 ・ 巡回指導（側乗指導、街頭指導）
令和 8 年 1 月	・ 健康管理の重要性 ・ 寒冷期の事故、故障の防止 ・ 労基法、労働時間改善基準について	・ 疾病に起因する交通事故事例の説明 健康診断、及び改善策の重要性 ・ 雪道凍結運転要領 ・ 労基法、改善基準のポイント	・ 日々体調管理の重要性 ・ 冬期運行の安全対策の徹底（点呼時啓蒙） 各種法令の理解
2 月	・ 安全性の向上を図る為の装置を備える 貸切バスの運転方法 ・ 冬期運行研修（志賀高原方面）	・ ASVに係る事故事例及び性能、留意点 ・ 冬山実地訓練 積雪、凍結路の措置要領	・ A S V の機能を正確に把握 ・ 路面凍結、圧雪路等、雪上走行訓練を通じ 雪道での安全運行訓練
3 月	・ ドライブレコーダーの記録を利用したヒヤリハットの体験 等の共有、自身の運転特性の把握と是正 ・ 非常用信号、非常口、消火器の取扱い ・ AED講習、避難訓練（瀬谷消防署） ・ 安全運転講習会（新光FPサービス）	・ 安全運転の指導 ・ 緊急対応訓練 （脱出経路の確認、消火訓練） ・ 外部機関による救急救命講習 ・ 外部機関による安全運転講習会	・ 安全運行の再確認 ・ 各種緊急対応訓練の実施 ・ 緊急時に適切、迅速に行動出来るよう指導

※ 適性診断結果に基づく指導は通年とする
※ 緊急停止訓練（急制動）については通年とする
※ ドラレコのデータを用いた指導は半期に一度とする

令和 7 年 4 月 1 日
天台観光株式会社

代表取締役社長 紙透 要